



2018

年頭記者会見 岐阜商工会議所



副会頭 小澤 義行

副会頭 高橋 泰之

副会頭 廣田 孝昭

副会頭 大松 利幸

会頭 村瀬 幸雄

年頭記者会見 岐阜商工会議所 真の地方創生へ

2018

昨年のがわが国経済につまましては、米国における保護主義の台頭や中国の海洋進出、北朝鮮の核開発問題など外交上の不安要素を抱えながらも、政府による成長戦略や堅調な大手企業の業績を背景に景気拡大し、11月には日経平均株価が約26年ぶりの高値を更新するなど、景況は概ね良好でありました。

また、岐阜を含めた中部地域経済も大変順調な景況であり、これは何かというと経済雑誌等を読んでいますと適温経済というそうです。適温とは加熱もしていないし冷えてもいない。とても良い言い回しだと思いい、景気の拡大というか回復基調が引き続き今年も続いていくのではないかと思います。

一方、物流業界を中心に人手不足が深刻化するなど、わが国の構造問題である少子高齢化にいよいよ正面から向き合わなければならなくなりました。

イスが求められております。

このような中、岐阜商工会議所としては、各事業者それぞれの経営課題に対して、「経営発達支援計画」に掲げる小規模事業者に対する中長期的な振興のあり方を指針とし、各事業者のライフステージに応じたきめ細かな「伴走型支援」に注力してまいります。特に、先ほど申し上げました2つの大きな課題に対しては、IoTの活用支援による生産性向上・省人化や、岐阜県事業引継支援センター等を通じた事業承継支援など、課題解決に向けて強力に推進してまいります。

新会館を「拠点」に まちづくりや創業支援・ 賑わい創出

次に、新しくなった会館の活用であります。長年の課題でありました、岐阜商工会議所会館の耐震化につきましては、会員の皆様よりの物心両面にわたるご支援・ご協力のおかげで、耐震リニューアル工事が完成し、昨年10月25日に無事ご披露することができました。今後は、新しくなった岐阜商工会議所会館を拠点として、岐阜のま

当所では1月5日(金)、村瀬会頭と4名の副会頭がそろって年頭記者会見を行い、本年の基本方針と重点事業を発表しました。



会頭 村瀬 幸雄

ちづくりや創業者支援に役立つ取り組みをしていきたいと思っております。

ガラス張りで開放的なつくりとした1階セミナールームでは、創業支援に関するセミナーを多く開催し、新規起業者の増加を後押しするとともに、中小企業や商店の皆様は、単独では難しい新商品や新サービスの発表の場を毎月定期的に開催し、岐阜のまちに賑わいを創出したいと存じます。

また、全長35メートル超の2階バルコニーは、長良橋通りを見渡せるつくりとしました。岐阜をあげての大きなイベントの大半は、長良橋通りで展開されることに鑑み、このバルコニーを生かして、イベントに花を添えるような催しも企画してまいります。

観光振興による地方創生 岐阜ブランド「鮎菓子」 アピール

そして、毎年恒例となつてまいりました「鮎菓子たべよう博」については、本年はこの新しくなった会館で執り行います。
本年の「鮎菓子たべよう博」は、岐阜ブランドを盛り上げる「鮎菓

子プロジェクト」の旗艦事業として、これまでも増して、菓子事業者の意欲や創意工夫を引出し、その熱意を県内外へアピールする場としての意味を強くしていくため、事業者の皆様との連携を深め、「岐阜といえば鮎菓子。鮎菓子といえば岐阜」と全国から認識してもらえよう、引き続き取り組んでまいります。

本年は、AIやIoT技術の進展に伴い、市場の拡大が見込まれる一方、第4次産業革命と言われるほど、当該技術は今までの産業界の常識を変える可能性を秘めております。このように、地殻変動がおきつつある経済界において、地域経済団体である岐阜商工会議所としては、地域と共にあるという原点に立ち返り、岐阜の地方創生のため諸事業に取り組んでまいります。

以上、簡単ではございますが、本年の重点事業をご説明いたしました。地方創生のため、今まで以上に産官学金労言、一丸となつて取り組むべく、諸事業の推進をしていきたいと思っております。
皆様方のご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願いたします。



産官学金労言一丸となつて 岐阜の活性化へ

副会頭 大松 利幸

中小企業のフォローアップが課題

情報技術革命が進んでいくなかで、今後企業間格差が広まってくるのではないかと懸念しています。商工会議所として中小企業をどうフォローアップしていくかが、重要な課題であり、解決に向けて叡智を絞って考える時期に来たのではないかと思います。

副会頭 廣田 孝昭

「顧客目線」を捉え直し取り組む

岐阜の地場産業アパレル・繊維関係において一番に捉えておかないといけないのは「顧客目線」だと考えます。岐阜シャツを含めてしっかりと捉え直しして取り組んでいく必要があるのではないかと思っています。

また、新たな商工会議所会館が情報発信、交流を生み出し、まちに活力を見いだしていく場所となるよう取り組んでいきたいです。

副会頭 高橋 泰之

生産性向上にはインフラ整備が重要

少子高齢化が進み人口減少時代を迎えた日本経済が成長していくには、生産性の向上が必須です。長らく期待していた東海環状自動車道西回りルートがスケジュールが見えてきました。インフラによる経済効果はとて大きく、整備促進は最優先に取り組む課題です。名岐国道や南部横断道路についても促進を図っていききたいと考えています。

副会頭 小澤 義行

海外支援、外国人観光客支援に注力

人、モノが移動し、交流が生まれることで地域経済とまちは活性化します。

企業活動の国際化、ボーダレス化などと盛んにわれるなかで、岐阜の企業の海外支援、海外からの観光客の支援に力を注ぐことで、岐阜のまちの更なる活性化につなげていきたいと考えております。

